

愛知発の新しい学び方「ラーケーションの日」



ラーケーション=Learning(学ぶ)+Vacation(休暇)

愛知県では、未来につながる家庭での主体的な学び・体験的な学びを応援するために、「ラーケーションの日」をスタートします。

子どもの学び(ラーニング)と、保護者の休み(バケーション)を組み合わせた、平日だからこそできる学校外での学習活動を、ぜひ子どもと一緒に計画してみませんか。

「ラーケーションの日」とは

○ 愛知県全体のワーク・ライフ・バランスの充実を目指す、「休み方改革」プロジェクトの中で生まれた「ラーケーションの日」は、「学習(ラーニング)」と「休暇(バケーション)」を組み合わせた愛知県発の新しい学び方・休み方です。

○ 校外での自主学習活動であるため、子どもは学校に登校しなくても欠席とはならず、「出席停止・忌引等」と同じ扱いとなります。

○ 保護者等の休暇に合わせて届け出をし、年に3日まで取ることができます。(ただし、2023(令和5)年度については、2学期以降の実施となるため、2日までとなります。)

ご留意いただきたいこと

○ 「ラーケーションの日」は、事前に届け出る必要があります。

○ 「ラーケーションの日」を取得した日の給食の扱いについては、各学校のルールをご確認ください。

○ 「ラーケーションの日」を取得することで受けられない授業の内容は、家庭で自習をします。

○ 学校によっては、行事などの教育活動のため、「ラーケーションの日を取得できない日(期間)」を設けることがあります。各学校のルールをご確認ください。

「ラーケーションの日」活動例



再発見！ 地域の史跡を巡ろう

平日は史跡をじっくり見学したり、ガイドさんから詳しい話を聞いたりできます。地元や近隣にも意外と史跡はあるものです。



見つけた！ 公園の植物を調べよう

庭や公園で見つけた植物について親子で一緒に調べてみましょう。学びのきっかけは身近なところにもたくさんあるはずです。



収穫の喜び 家族と一緒に農業体験をしよう

私たちが口にしている野菜は、どんな人の手で育てられ、どんな風に育っているのでしょうか。収穫体験や農業体験など、ふだんできないことを家族と一緒に体験してみましょう。



親子で芸術家！ 様々な表現方法を知ろう

素敵な風景は初めて訪れる土地だけでなく自宅から近いところにもあふれています。家族で同じ景色を見ながら絵をかき、表現の仕方を比べてみるのもよいでしょう。



五感を使って 自然と仲良くなろう

景色を味わう、鳥の声を聴く、空気を感じる…五感を使って、自然に親しんでみてはどうでしょう。観察をとおして生まれる発見や問いも大切なものです。



気分はシェフ 授業で学んだことを生かそう

家庭科や総合的な学習の授業等で学んだことを生かして、実際につくってみましょう。家族だけのオリジナルレシピが完成するかもしれません。



日常を離れて 感じたことを語り合おう

美術、映画、音楽、演劇など、人生を豊かにする芸術に触れて、感じたことを語り合ってみましょう。

「ラーケーションの日」Q&A

「ラーケーションの日」にまつわる疑問にお答えします

Q1 愛知県は、どうして「ラーケーションの日」を作ったのですか。

A1 愛知県「休み方改革」プロジェクトでは、県全体のワーク・ライフ・バランスの充実と生産性向上による地域の活性化を目指しており、その一環として「ラーケーションの日」が生まれました。また、県内では、土曜日に働いている方が約 45%、日曜日に働いている方が約 30%おられ、休みの日に子どもと一緒に過ごすことが難しい家庭が少なくありません。そうした家庭でも、平日の保護者が休みの日に、子どもと一緒に学び、活動することができる日として、「ラーケーションの日」を作りました。

Q2 「ラーケーションの日」の計画は、どのように立てればよいですか。

A2 ラーケーションの計画を立てるときは、子どもが学校で今勉強していることなども聞きながら、子どもが「もっと知りたいと思っていること」「体験してみたいこと」などについて話し合ってみてください。その中で「学ぶ場所」や「学ぶこと」を決めていってはでしょうか。なお、遠くへ行かなくても、身近な場所にも「学びの種」はあふれています。

Q3 「ラーケーションの日」を連続して取ることはできますか。また、残った日数は、次の年に繰り越すことはできますか。

A3 「ラーケーションの日」を連続して取ることはできますが、残った日数を次年度に繰り越すことはできません。

Q4 急きょ休みが取れることになった場合、前日に「ラーケーションの日」を届け出ることはできますか。

A4 前日でも、「ラーケーションの日」を届け出ることは可能ですが、しっかりとした計画を立てて学習活動を行っていただきたいので、早めの届け出をお願いします。

Q5 「ラーケーションの日」に、どこかへ旅行に出かけてもよいのですか。

A5 ラーケーションは、ラーニング(学び)+バケーション(休暇)ですので、「学び」の要素が必ず必要です。学びの要素があれば、旅行に出かけることもできますが、大切な授業の代わりとなる活動ですので、家庭でよく話し合って計画を立ててください。なお、どこかへ出かけなくても、ラーケーションは可能です。

Q6 どのような活動であればラーケーションになるのですか。

A6 ラーケーションは、(1)保護者と一緒に行く、(2)体験や探究の学び・活動です。そのため、(1)(2)を満たす活動がラーケーションということになります。学校から配付されたリーフレットに載っている「学びのキーワード」や活動例、また、「ラーケーションおすすめサイト」などを参考にして、子どもと話し合い、「何を学ぶか」をはっきりさせる必要があります。身近な場所にも、学びの種はたくさんあるはずですよ。

Q7 「ラーケーションの日」を取ったことで、学習が遅れてしまうのが心配です。どうすればよいでしょうか。

A7 学校では、「ラーケーションの日」を取得した子どもには、病気等による欠席と同様の対応をします。授業で使用したプリントなどがある場合には、学校から後日お渡しすることができますので、家庭で自習により補っていただくようお願いいたします。

Q8 「ラーケーションの日」が導入されることで、学校行事等に子どもがそろわなかったり、先生の仕事が増えたりすることになりませんか。

A8 学校が「全員に出席してほしい」と考える場合には、「『ラーケーションの日』を取得することができない日(期間)」を設けることがあります。その日(期間)には、「ラーケーションの日」を取得しないようお願いいたします。

なお、県教育委員会では、「ラーケーションの日」の導入に伴って校務支援員の配置を進めるなど、先生もご自身の子どもと一緒に過ごせる仕組みづくりに取り組んでいます。全ての先生が生き生きとした笑顔で子どもの前に立てるよう、働き方の見直しにつながるような休み方改革を進めます。